

報 告 書

開催日時	平成 28 年 7 月 25 日（月） 19：00～20：20	
開催場所	前津江公民館	
出席議員	（2 班）石橋、日隈、高瀬、渡辺、財津	
	班 長	高瀬
	司 会 者	高瀬
	記 録 者	財津
参加人数	25 人	
主な要望 ・ 提 言 等	<p>○A氏 空き家が多いが空き家バンクへの登録の促進などアピールするべきでないか。 周辺地域ほど人口減少に伴い空き家が増えている。</p>	
	<p>（空き家活用事業を説明） 市外からの空き家バンク登録家屋への移住には、移住者ひた暮らし支援事業で仲介手数料、家財の処分、空き家の改修、引っ越し支援、購入についてもその一部を支援する対策を用意して移住者を呼び込む努力をしている。</p>	
	<p>○B氏 すぐに住める家もあるが、危険な家屋もある。なんらかの対策をとるべきだ。</p>	
	<p>そのとおりだが、そのような家屋は所有者の特定が難しい例もある。</p>	
	<p>○C氏 そのような空き家こそ市が把握して登録するようにすべきではないか。家屋の耐震診断はどのような状況か。</p>	
<p>耐震診断に対する助成措置もあるが、受ける家主は少ない。空き家であればなお難しい。耐震化していないと移住者に勧め難い。</p>		
<p>○D氏 空き家には田畑山林も付いているので、一緒に借りてくれ、買ってくれとの持ち主の希望もある。農地の場合一般には買えないので、そのような場合の優遇措置などはないか。</p>		
<p>○A氏 私は農業委員をしているが、農地の取引は農地法で規定されており、一般的に25a以上の農業をする前提でないと買うことができない。空き家と農地は別に考えた方がよいのではないか。</p>		

○E氏

周辺地域では買い物など「足」の確保が難しくなっている。対策はどうなっているのか。

地域にとってより便利な施策を考えてほしい。

移動販売業者に回ってもらったり、中津江の「絆クラブ」のような活動をする団体を立ち上げることが考えられる。コミュニティーバスの拡充も大事と考える。

○F氏

日田バスが幹線に通っているが支線にはない。日田バスと話ができればもっと便利になるのではないかな。

民間と行政の役割分担など、今度策定される第6次日田市総合計画の中に盛り込まれるように努力したい。

○G氏

前津江まで日田バスが来ているが、市が代替え交通を行えば日田バスは廃線となるのか。

日田バスとの協議になる。

天瀬では、本城線を廃止してデマンドタクシーとした。朝夕のバスを残すのか、どうするのか話し合いを重ね、意思の統一をはかった。その後日田バスとの協議になったようである。

○A氏

通院や買い物に不自由している。前津江は今も無医村である。この対策をしっかりと考えてもらいたい。

○E氏

災害時の対応に関連するが、日田市の情報公開度では県内10位、大分市が全面公開となっているようだが、災害時には近隣の障害者の情報がないと対応が難しくなる。

弱者の救済に支障が出ることもあるので、市に尋ねてどのような対応か調べる。

○H氏

地域で道路愛護活動をやっているが、道路脇に土砂が堆積して草も生えている。地域活動では対応できないので、何とかならないか。

年2回ほど市、県が草刈りなどしてはいるが、その件は言われる通りである。道路維持管理予算も限りはあるが、現状を確認して改善を促す。

○ I 氏

振興局の合併は消防、防災上からも非常に困る。現振興局の耐震不備を理由に促進するのではないか。

問題が発生したときに振興局がないと地域の安全安心は心配だ。

耐震不備の話は出ているが、合併は今のところ白紙だと聞いている。7月29日には市の出前懇談会もあるので市の考えを聞いてほしい。

○ J 氏

林業従事者の退職金制度について、公的機関としてのハードルが高いのでどうにかならないか。

林業従事者の退職金制度については、今後調査し研究した上で回答する。